



2006 2007
Gifu North R.C.



岐阜北週報

WEEKLY REPORT

1175

例会 毎週水曜日 題字 小森 保敏
会場 岐阜都ホテル 岐阜市長良福光桃林 2695
tel 295-5222(代)
事務所 岐阜商工会議所 (岐阜市神田町 2) tel 264-9235(代)

会長 小森 保敏
副会長 岡田 忍
幹事 永瀬 章
会報記念誌委員長 谷田 育子

<http://gifukita-rc.com>



平成 18 年 9 月 6 日 発行

8 月 会員増強及び拡大 月間

本日のプログラム

第 1176 回例会 9 月 6 日 (水)

慶祝行事

クラブフォーラム (3)

担当 青少年育成委員会

第 1175 回例会 8 月 27 日 (日)

クラブアッセンブリー (4)

ガバナー公式訪問 A 分区合同

(30 日繰り上げ)

担当 会長、幹事

- 点 鐘
- 国 家「君が代」斉唱
- ローターソング「我等の生業」
- 四つのテストの唱和



岐阜 A 分区合同例会

開会 岐阜 R C 林 初彦 会長

ホストクラブ 会長挨拶

岐阜中 R C 加藤 義明 会長

皆様こんにちは。ホストクラブを代表しまして歓迎のご挨拶を申し上げます。第 2630 地区岐阜 A 分区 5 クラブの合同例会、日曜日にもかかわらず、篠田ガバナー様を始めとし、田中ガバナーエレクト様、御来賓の皆様、各クラブの皆様多数の御出席を賜わりまして、誠に有難うございます。心より歓迎を申し上げます。午前中、会長、幹事、篠田ガバナー様を囲んでの懇談会を開催しました。その中で、篠田ガバナー様のお人柄、考え方、2630 地区の方針等をお聞かせ頂き、大変勉強になりました。その中で、ロータリーバンドの結成をしようというお話も有り、非常に素晴らしいことと思っております。本日は年に一度の合同例会で、日頃あまりお付き合いの出来ない他クラブのロータリアンの交流も深めて頂けるのではと思っております。この合同例会の後、IM が開催されます。今回は素晴らしい講師の先生をお招きしています。ロータリーを学んで楽しんで頂きたいと思っております。

最後に各クラブの会長様、幹事様、そして、会員の皆様のご協力に感謝を申し上げます、私の歓迎の挨拶とさせていただきます。

出席報告

出席委員会

本日のホームクラブ	23 / 34	67.64%
-----------	---------	--------

本日のホームクラブ 欠席者 11 名

岡田一二三君・片桐順一郎君・小島正三君
塚原進君・部田拓君・長野鉄司君・服部洋一朗君
堀田啓司君・水川渥君・宮田千二君・安藤紳一郎君

今期代表幹事 篠田様からのお知らせとお願い

ガバナー事務所等地区幹事の活動に対し、会員の皆様の御協力、御理解を賜わりまして厚く御礼申し上げます。7 月からのガバナー月信に写真を多く取り入れる事とし、ほとんど皆様のお顔が写る事を目標にしています。そのため文章がほとんどありませんので、それらについてはホームページ等に子細を入れておきますので御容赦下さい。又 9 月期、10 月期に関しましては後の面を見て頂くと納得して頂けるかと思っておりますので、ぜひ中を見開いて頂ければ、自分のクラブの誰かが掲載されていると思っておりますので、ぜひ一年間ご愛読頂く様御願います。

来る 11 月 18 日、19 日に都ホテルで地区大会を開催します。A 分区ぜひ、全面的に御支援賜りたいと思っております。実行委員の各委員長等、各クラブ様の方に御願い申し上げていると思っておりますが、ぜひよろしく御願い申し上げます。

11 月 18 日、土曜日ですが、アジアで始めて R I 会長になられた方に基本に戻って、原点から見直してとの形で御講演を賜りたいと思っておりますし、晚餐

会には素晴らしい企画をしていますので、ぜひ全員の方に御出席賜りたいと思っております。又、5月、6月に皆様に出させて頂いたアンケートの結果に基づいて、山口大学の小谷先生に解析して頂いて、今後のロータリーの新しい魅力を求めて、という事でお話をさせて頂きます。又、ロータリー活動を理解頂くためにも、一般の市民の方も交えて桂三枝師匠に会場頂き、トークショー等も企画していますので全員の皆様の御参加を御願ひします。よろしく御願ひ申し上げます。



例会行事 クラブアッセンブリー（４）卓話 ガバナーの紹介

野々村 雅章 ガバナー補佐

皆様こんにちは。ガバナー補佐の野々村でございます。岐阜A分区合同例会開催に篠田ガバナー様の御臨席を賜わり誠に有難うございます。又、田中カバナーエレクト様にも御出席賜わりまして本当に有難うございました。岐阜A分区の会員、本日192名の出席を賜りました。厚く御礼を申し上げます。

篠田ガバナー様には、頭初ロータリーで題唱されました。「教育と文化」又「入りて学び、出でて奉仕せよ」という強い心を持っておられますガバナーでございます。篠田ガバナー様よろしく御願ひ致します。



ガバナー卓話 篠田 靖之 ガバナー

篠田でございます。今年度R.I.会長はニュージーランドの出身でとても自然に恵まれた良い国です。ウィリアム・ベル・ボイト氏が率先しようというテーマを出されました。皆と一緒に奉仕活動に参加しようという意味と、各地域社会の中で一緒に共生するロータリアンであって欲しいという話をしました。尚、一層それを進める事によって、ロータリーの理解を得て、尊敬さえる人と成りうるだろう、それには皆様方の活力ある善意が反映する事を願う。又、これからのロータリーを考えると、100年を経たロータリーと別のことを考えなければいけないということで、IMという大きな単位、又は、2～3のクラブで一つの目標に向って一緒に奉仕活動をする事も大切ではないか、というロータリーの有り方に一つの示唆も考えておられました。ロータリーが地域社会と合同で物事をする時、社会の流れや、その地域社会を理解する事が必要ではないでしょうか。今、社会で3つのものが少しずつ無くなりつつあります。1つは睡眠、会話、読書です。これらはどうしても必要であります。これが無くなって行くというのは、地域社会の荒廃に繋がって行く様に思います。

睡眠は、明日の活力と考えを反映するものですが、その他に毎日の情報を整理整頓するのが、睡眠の働きです。睡眠に必要な栄養素はブドウ糖、アミノ酸、ビタミンB、E。それらが新鮮な酸素とヘモグロビンに依って、脳に栄養があたえられます。その時に整理整頓するエネルギーが頭の中に血液と一緒に入って行くという、睡眠の大切な役割が有るのを理解して頂き、これから育つ子供にとっては特に大切である生活のサイクルを考えて睡眠を大切にしていきたい。

もう1つは会話で人間は言葉を持ち社会を構成しているが最近では会話が乱れています。絵文字や略語やカタカナ語の形で、人間はなまけ者で楽な方へ流れるのが人間の常ですが、会話の重なりがこれからの社会でとても大切です。人の目と目を合せてするのが会話ですが、若者は人の顔を見ながら話をするのが苦手の様に思います。人として生まれた時に母親が子供に掛ける会話が少なく、育つ家庭に於いても出来るだけ多くの人と接しながら育って行くと円満な人間に育って行くと思います。

読書に於いては先人の知恵がたくさん詰まっている大変大切なものです。最近では写真のものがたくさんありますが、読み込むという事がなかなか出来ません。又、書くという事が非常に苦手でございます。それは読書の量が少なくなって来ている事もあると思います。本というのは自分の考え方を示唆し自分の技量を前へ前へと進展させるものです。絵本は3度読めと言われていますが、幼少、中学、高校の頃、30代、40代と60代、70代に読む時では、自分の人生の長い歴史の中で自分の生き方が見えて来ると思います。昔聞

いた話ですが岩城宏幸さんは楽譜を置いてタクトを振った事がないそうですが、それ母親と一緒に絵本を読んで会話をしながら、本をよく見て覚えていったそうです。そのうちに絵本の中味が全部頭の中に入り、それが現在に継がり、必要な時に必要な楽譜が頭の中にサッと浮んで流れて来るそうです。彼はコンダクターとして、大変立派な仕事をなされたと思います。

幼稚園の知り合いの3才前の子供が、1年前に聞いたベートベンの第9の音楽を覚えていた。又、自分の子供にその様に人の会話、ふれ合いなどを出来るだけ多く接する事が出来る様にしているとの事です。ロータリーもそれらの事と同じでロータリアンとして、ロータリーを理解する。その為に、たくさんの会員と話をするのも大切ではないか。そのクラブの会長さん、又はSAの方々がどういうクラブ、又は、例会にしようと考えながら進めていくのが、ロータリーの自立する道ではないでしょうか。

昔から一時の飢えをしのぐよりも、飢えない方々を考えよと申します。入会をして、3年未満に退会する人が退会者の半分有りますが、防止という事は会長さんや紹介して頂いた方々の努力に依って少なくなるのではないかと考えています。ロータリーの精神は、ボールハリスが言いました様に、自分に厳しく他人にやさしいピューリタンの精神、思想がこのロータリーの中に有ると思います。事実がどうか、皆に公平か、好意と友情を深めるか、皆のためになるかどうか、四つのテストはピューリタンの中から生まれたのではないかと思います。幼少の頃の子供達にこの4つのテストの思想を話されると非常に良い影響が有ると思います。どうかこの4つのテストを自分の家庭に自分の職場に自分の友人に、このとても良いロータリーの定を上げて頂ければ、ロータリーの価値も上り、皆から尊敬されるロータリーとなるのではないかと思います。

物事は善か悪かが物事の基本になると思います。生善説と生悪説が有るが悪いか良いかという事を子供達にきちっとお話頂ける様お願い申し上げます。そうすればきっと良い社会が生まれます。御清聴有難うございました。



- 閉会挨拶 岐阜西RC 野口 千寿雄 会長
- 点 鐘 岐阜北RC 小森 保敏 会長

[I.M.] インターシティ、ミーティング

司会：岐阜中RC 安田 高志 幹事

閉会の挨拶 野々村 雅章 ガバナー補佐

合同例会に引続き、IMに入ります。岐阜A分区会員の研修と親睦の2本柱として有意義なIMなり、奉仕活動が円滑となります事を祈念致します。本日お招きしました講師黄志雲先生は、元米山奨学生で、現在東京の城西ロータリークラブの会員となっておられます。又、長年米山奨学にたずさわっておられる、パストガバナーにお言葉を頂戴致したいと思います。

パストガバナー挨拶

岐阜RC岡本パストガバナー

講師紹介 地区米山奨学委員会 篠田 鋺三 委員長
 講演 講師 黄 志雲 (アンドリュー・ウォン)
 演 題 「アンチェンジングして奉仕の
 チャンスを増やしましょう」



合同例会及び「I.M.」終了後は、合同懇親会が催され、岐阜中RCが結成された「ロータリーバンド」に依る熱演が披露されて会場は大いに盛り上がりました。

次回例会のご案内 9月13日(水)

・早朝例会(例会変更)

担当 プログラム委員会

担当/クラブ会報委員会 谷田 育子